

業務連絡

2024年6月21日 No. 1
JR東海労新幹線関西地本
業務部

2024年6月20日、支社会議室において「申」第8号について、組合側幹事と会社側幹事による団体交渉開催に向けた事前の打ち合わせを行いました。会社は、団体交渉を拒否しました。以下は協議の主なやり取りです。

「申」第8号「鳥飼基地総合事務所棟4階風呂場の脱衣所の水漏れ」に関する申し入れ(2023年5月23日)

1. 総合事務所棟4階にある風呂場の施設管理権は、何処が持っているのか明らかにすること。

【会社回答】大阪仕業検査車両所が管理している。

2. 東海会社は、総合事務所棟4階にある風呂場（主にSEK、サービック、東海物流の社員が使用する）の脱衣場の天井から水漏れが発生している現状を把握しているのか、明らかにすること。

【会社回答】現状は把握しており、修繕に向けた準備をしている。

3. 脱衣場の水漏れ発生から、既に1カ月以上経過しているが関連会社（SEK・サービック・東海物流）からの修理依頼はないのか、明らかにすること。

【会社回答】現状は把握しており、修繕に向けた準備をしている。

4. 風呂場の脱衣場は、湿気が溜まりやすく、カビの発生や雑菌が繁殖する可能性があり人体に影響があると考えますが、会社の見解を明らかにすること。

【会社回答】会社として適切に管理していると考えます。

5. 東海会社は、関連会社（SEK・サービック・東海物流）からの修理依頼があり、水漏れを把握しているならば、早急に修繕を実施すること。

【会社回答】現状は把握しており、修繕に向けた準備をしている。

6. 総合事務所棟4階にある風呂場の水漏れの修繕が完了するまで、他の風呂を使用できるようにすること。

【会社回答】そのような考えはない。

以上

《 議論内容 》

組合：修繕に向けた準備をしているとの回答であるが、いつ修繕をするのかわからないのか。

会社：天井裏からの水漏れということで、色々調査している段階でありいつになるかわからないが、順次進めているところである。

組合：会社も3月には把握していて、すでに3箇月が経過している。まだ、直らないのは遅すぎはしないか。

会社：天井裏からの水漏れということで、点検口を作ったりするなど時間を要している。

組合：3月に把握してから、社員に工事の進捗状況等を周知すれば、書面での申し入れをする必要はなかった。

以上